

## 競 技 上 の 注 意

1. 本大会は2021年（公財）日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項による。
2. 本競技会に参加するに当たり下記に示す提出物を必ず提出すること。  
必要な書類の提出がない場合は出場が認められなくなります。
  - (1) 様式1「健康チェックシート」を参加日ごとに送付書付きで各校まとめて受付に提出（原則として朝のうちに）する。
  - (2) 様式2-1「出場届」、様式2-2「【大会前】新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシート」を招集時に提出する。予選、準決勝、決勝がある種目は予選時の提出のみ（日をまたぐ場合も予選時のみ）でよい。ただしリレー種目に出場する選手で予選に出場せず決勝に出場する場合は、決勝の招集時に提出すること。混成競技に関しては、初日の1種目目の招集時に提出すること。
  - (3) 大会終了後2週間の体調を記録し、様式3「【大会後】新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシート」を各校顧問に提出する。各校顧問は必要に応じ提出できるよう保管しておく。
3. 招集について
  - (1) 招集では、競技者は招集集合時刻までに招集所に集合し、掲示されたエリアで待ち、競技者係より胸背部のアスリートビブス（※ナンバーカード。以下すべてアスリートビブス）と腰アスリートビブス、スパイク、シューズ（本大会はWA規則143条TR5を適用する。100m～400m、100mH、110mH、400mHはソールの最大の厚さが20mmを超えるシューズは使用できない。800m以上は、ソールの最大の厚さが25mmを超えるシューズは使用できない。トラック競技出場者は、スパイク以外のシューズを使用する場合は招集の際、検定を受けること）、様式2-1「出場届」、様式2-2「【大会前】新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシート」の確認を受けた後、競技者係の誘導に従って競技場内に入場する。
  - (2) 長距離競走出場（3000m、5000m、5000mW）の競技者へは、招集時に胸用の特別アスリートビブスを配布する。安全ピンは各校で準備すること。背中のアスリートビブスは各自のものをつけること。また、腰アスリートビブス（10番以降）を招集時に係より受け取り、退場の際、招集所に返却すること。
  - (3) 招集は、代理人は認めない。ただし2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、あらかじめその旨を本人または代理人が招集完了時刻前までに招集所競技者係に申し出て「同時出場届」を受け取り、必要事項を記入し提出する。この場合に限り招集を代理人がすることを認め、審判長はやむをえない事情があると認めた場合に限り、フィールド競技のみ試技順を変更して出場させることがある。
  - (4) 競技を棄権する場合には「棄権届」を招集所競技者係に提出する。招集完了時刻に遅れた競技者は棄権とみなす。
4. 競技者の変更は認めない。
5. アスリートビブスは各校で準備し、必ず胸背部と腰部（右腰後方）につける。跳躍競技は胸部・背部のみでもよい。
6. 練習のための投てき用具の貸出しはしない。
7. 棒高跳ポール以外は、競技場備えつけの用具を使用する。ただし、やり（男女）の持ち込みについては、8:30～9:00に本部にて検定を行う。

8. リレーオーダー用紙は、各レース 1 組目招集完了時刻の 1 時間前までに招集所競技者係に提出する。
9. 予選・準決勝において、同タイムの場合は 1 / 1000 秒単位をもって判定する。
10. 5000mW は、制限時間を設ける。下記の時間までに最終周に入れなかった場合は、レースを中止させる。

〈途中棄権扱いとする〉

- ① 女子 5000mW ; 最終周で 38 分 00 秒以内、 ② 男子 5000mW ; 最終周で 34 分 00 秒以内

11. 5 月 15 日 (土) 競技終了後、陸上競技場において関東高校大会出場についての打ち合せ会を行うので学校代表者は必ず参加すること。なお、5 月 25 日 (火) 13 時 30 分 (時間厳守) ケーズデンキスタジアム水戸にて、関東高校大会の申込受付を行うので、必要書類を整えた上、必ず出席すること。

12. 個人情報の取り扱いに関して

大会参加に際して提供される個人情報は本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはない。

13. ゴミ処理について

ゴミは、各自で必ず持ち帰ること。

14. バーのあげ方

	練習	1	2	3	4	5	6	7	8	9
男 走高跳	1.65 1.80 1.90	1.70	1.75	1.80	1.85	1.88	1.91	1.94	1.97	2.00
女 走高跳	1.35 1.45 1.55	1.40	1.45	1.50	1.53	1.56	1.59	1.62	1.65	1.68
男 棒高跳	2.60 3.20 3.80	2.76	2.96	3.16	3.36	3.56	3.76	3.86	3.96	4.06
女 棒高跳	1.70 2.10 2.50	1.74	1.94	2.14	2.34	2.44	2.54	2.64	2.74	2.84
八種走高跳	1.50 1.65	1.50	1.53	1.56	1.59	1.62	1.65	1.68	1.71	1.74
七種走高跳	1.25 1.40	1.25	1.28	1.31	1.34	1.37	1.40	1.43	1.46	1.49

15. 計測ライン (状況により変更することがある。)

男 走幅跳	男 三段跳	男 砲丸投	男 円盤投	男 やり投	男 ハマー投
5.90	11.50	8.00	23.00	35.00	25.00
女 走幅跳	女 三段跳	女 砲丸投	女 円盤投	女 やり投	女 ハマー投
4.50	9.20	7.00	20.00	25.00	18.00

16. 表彰式は実施しない。入賞した学校の顧問は、競技終了後、本部まで賞状を取りに来ること。

17. ハードル補助員 (1 校 3 名とする)

1 台目 佐和            2 台目 水戸葵陵    3 台目 取手松陽    4 台目 牛久栄進    5 台目 竜ヶ崎一  
6 台目 古河中等    7 台目 並木中等    8 台目 下館一      9 台目 境            10 台目 つくば秀英

18. 競技者以外フィールド内立ち入り禁止とする。

19. プログラムで名前・アスリートビブスの訂正がある場合は、招集所で行うこと。

20. 助力については、競技規則TR 6に従う。なお、スタンドからの映像を見せる事は認めるが、映像機器等をスタンドから吊り降ろしたり、競技者に手渡したりしての映像の確認は認めない。（コーチエリアを利用すること）

### 練習会場での注意事項

1. 練習は各校監督のもと、事故防止に十分配慮すること。
2. 補助競技場・投てき場では危険が伴うので、十分注意して行うこと。なお、使用する投てき用具は各自持参すること。
3. 補助競技場等のウォームアップエリアへは混雑を回避（密を防ぐ）するために付添等は入らないこと。
4. 補助競技場の使用レーンについては次の通りとする。  
1～2 レーン：中・長距離、 3～6 レーン：短距離、 7～8 レーン：ハードル
5. 補助競技場の使用については17：00（第4日は15：30）をもって終了する。
6. 投てき種目の練習については、下記のように使用すること。なお、投てき場については、当日実施種目（記載種目）の練習を最優先とし、その他の種目については記載種目の時間外で練習すること。練習の際は、顧問の先生の監督のもと、安全に留意して行うこと。

	投てき場（記載種目）	本競技場	補助競技場
第1日	男子砲丸投・・・8：40～9：30、 女子やり投・・・8：40～9：30	使用禁止	使用禁止
第2日	男子ハンマー投・・・8：40～9：00、 女子円盤投・・・12：00～12：30	使用禁止	使用禁止
第3日	女子ハンマー投・・・8：40～9：00、 男子やり投・・・11：00～11：30	使用禁止	使用禁止
第4日	女子砲丸投・・・8：40～9：00 男子円盤投・・・8：40～9：00	使用禁止	使用禁止

※投てき場の使用については15：00（第4日は14：00）をもって終了する。